



要望書

令和6年5月28日

当別町長 後藤 正洋 様

江別医師会 当別ブロック
医師会 理事 秋田 真秀

【要望事項】

带状疱疹予防ワクチン「製品名：シングリックス筋注用」、乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」の任意予防接種費用に対する半額相当の助成制度導入

1. 疾患説明

带状疱疹は、子供の頃に感染する「水ぼうそう」のウイルスが、治癒後も体の感覚神経に潜伏し、大人になって、加齢や疲労によるストレス、基礎疾患や癌、リウマチなどの治療で使用される免疫抑制剤等により、その人の免疫力が低下することで、ウイルスが再活性化し発症する病気で、日本での疫学調査では、働き盛りの五十歳を過ぎた頃から急増し、80歳までに3人に一人が発症（生涯発症率は約30%と推計）する、ほぼ全ての日本人が発症のリスクを持っている疾患です¹⁾。特徴としては、皮膚上に現れる水ぶくれを伴う赤い発疹と、眠れないほどの激しい痛みを伴う疾患ですが、高齢者では発症した場合、重篤化するリスクが高くなります²⁾。また、重篤な合併症として日常生活の質に大きな影響を与える带状疱疹後神経痛（PHN：Postherpetic Neuralgia）という慢性疼痛を伴うことも少なくありません。さらに、眼部带状疱疹では中枢神経合併症などを発症し、重篤な場合、失明や顔面麻痺、難聴等の後遺症を引き起こす事があります^{3) 4)}。

1) Barbara P Yawn, Don Gilden. The global epidemiology of herpes zoster. *Neurology*. 2013;81(10):928-30.

2) Saguil A, Kane S, Mercado M, Lauters R: Herpes Zoster and Postherpetic Neuralgia: Prevention and Management. *American family physician*. 2017;96(10):656-63.

3) 稲田栄一 責任編集, 林田真和 著. 带状疱疹 Up-to-Date. 2012.

4) Harpaz R, Ortega-Sanchez IR, Seward JF; Advisory Committee on Immunization Practices (ACIP) Centers for Disease Control and Prevention (CDC): *MMWR Recomm Rep*. 2008; 57(RR-5): 1-30.

2. 医療費への影響

带状疱疹や、それに伴う後遺症、合併症に係る医療費に関して、治療費と薬剤費を合わせた直接医療費は、1人当たり、平均42,638円（合併症がない場合、平均38,471円、及び、残存する疼痛以外の合併症がある場合、平均72,789円から算出）、带状疱疹後神経痛の後遺症が残存する場合、平均127,079円とも報告されており、日本において、年間にかかる直接医療費は毎年260億円にも上るとされています⁵⁾。また、直接医療費の他にも、带状疱疹による、入院や通院による欠勤や、痛みによる職場での労働生産性の低下による間接的な損失は、毎年47億円と推計されています⁶⁾。

5) Makoto Shirigami et al. Dermatol Ther. 2019 Jun;9(2):281-297 より 各年代の生涯罹患係数を引用、人口推計 平成 29 年 10 月 1 日人口推計(<https://www.e-stat.go.jp>)から年代別人口を引用

6) Hiroyuki N, et al. Economic Burden of Herpes Zoster and Post-Herpetic Neuralgia in Adults 60 Years of Age or Older: Results from a Prospective, Physician Practice-Based Cohort Study in Kushiro, Japan. Drugs Real World Outcomes. 2017 Dec;4(4):187-198.

3. 現状説明

この様な状況において、日本では平成 28 年に乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」が、50 歳以上の方に対する帯状疱疹の予防で接種が可能となり、令和 2 年 1 月には乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（製品名：シングリックス筋注用）が発売され、発症リスクの高い、より幅広い医療ニーズに対応できる環境が整ってきています。一方で、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（製品名：シングリックス筋注用）は、その優れた予防効果と持続期間が示されているものの、1 回の接種費用は 20,000 円～25,000 円と、2 回の接種完了には 40,000 円～50,000 円を要するワクチンである事から、令和 2 年 3 月、名古屋市において接種費用の半額相当の公費助成導入が始まり、現在（令和 5 年 1 2 月時点）では、全国 3 3 0 自治体において公費助成導入の動きは拡大しております。また、その間、予防接種推進専門協議会（委員長：岩田誠）、公益社団法人 日本皮膚科学会（理事長：天谷雅行）、一般社団法人日本ペインクリニック学会（代表理事：飯田宏樹）から、国への定期接種化を求める要望書も出されています。帯状疱疹予防ワクチンの啓発と普及は、50 歳以上の成人、高齢者における健康維持、延伸及び、その介護者への寄与を通じて、人生 100 年時代に向けた、かかる医療費の抑制、労働生産性の向上が期待でき、社会全体の利益に繋がると考えます。

参考

予防接種推進専門協議会 要望書 ([20220916_request-for-regular-vaccination-with-shingles-vaccine.pdf](#))

公益社団法人日本皮膚科学会

一般社団法人日本ペインクリニック学会 要望書 ([20230329_01.pdf \(jspc.gr.jp\)](#))